

あおぞら

2013

6月号

この広報誌は、田園調布中央病院と患者さまが一体となって、病気やけがと闘うために少しでもお役に立てるよう、スタッフ一同が心をこめて皆さまへお送りする情報誌です。

今月の TOPICS

- 「鳥インフルエンザについて」
- 「在宅の生活でお困りのとき」

総合診療科部長 石田 順朗
医療福祉科 松本 紗緒里



内科:(一般・リウマチ・膠原病・呼吸器・消化器)
外科:(一般・消化器・呼吸器外科・肛門 内視鏡外科)
小児科:(一般・感染症・アレルギー・予防接種・育児相談)
整形外科:(一般・骨折・各関節痛・ひざ・骨粗鬆症)
眼科:(一般・白内障・網膜剥離・緑内障)
泌尿器科・循環器内科・皮膚科・疼痛外来
形成外科・脳神経外科

医療法人社団七仁会
田園調布中央病院
〒145-0071



東京都大田区田園調布 2-43-1
TEL:03(3721)7121

田園調布中央病院ホームページ
<http://www.tmg.or.jp/denencyofu>

発行:田園調布中央病院 広報委員会

病院理念

支える医療を実践する

基本方針

- ・救急・急性期医療に全力で取り組む事で、命を支えます。
- ・地域の方々と共に地域医療へ貢献する事で、地域を支えます
- ・疾病の早期発見・予防に努める事で、健康を支えます

患者様の権利

当院では患者様の

1. 良質で公平な医療を受ける権利
2. 医師による説明を受ける権利
3. 医療を選択し自己決定する権利
4. プライバシーを尊重される権利
5. 事故情報の開示を求める権利
6. 個人情報を守る権利

患者様の権利を尊重し安全で良質な医療の提供を行うために患者様のご協力をお願いいたします。

●鳥インフルエンザについて

総合診療科部長 石田順朗



本年3月に初めて報告されて以来、中国で新しいタイプの鳥インフルエンザ（H7N9）が流行しています。5月17日までに132例（中国131例、台湾1例）が報告され、うち36例が死亡しています。死亡率は概ね20%程度で推移しています。

感染源は生きた鳥を一般市民に販売する市場で売られている家禽と思われる。H7N9と1997年以来報告されている高病原性鳥インフルエンザ（H5N1）とはどのように違うのでしょうか？

H5N1は過去600例以上の感染者が報告され、死亡率60%程度です。H5N1に感染した鳥は100%発症するため、病鳥を発見したら周囲の鳥を屠畜することにより、感染の拡大を予防できます。これに対しH7N9の鳥に対する病原性はH5N1に比べてはるかに低く、健康と思われる鳥からもウィルスが検出されるため、病鳥を発見して周囲の鳥を屠畜という対策が立てにくいのです。

現時点で感染の拡大が予防できたかどうかを判断するのは尚早ですが、感染の可能性のある家禽を屠畜したことによる感染拡大予防策がある程度功を奏しているように見えます。

その一方で、感染力自体は季節性インフルエンザほど強くなく、現時点ではヒトからヒトへの感染は証明されていません。2009年の新型インフルエンザ（H1N1）に比べると比較にならないほど小規模な流行に留まっています。しかしながらH5N1に比べれば、ヒトに対して感染しやすくなっていると思われ、今後、更なる遺伝子の変異が加われば爆発的にヒトへの流行が拡大するパンデミックに発展する懸念も否定できません。

診断のために現在使用されている迅速診断キットはある程度有効と思われるのですが、検出率は100%ではありません。確定診断は各地の保健所を通して各地方の衛生研究所において行ないます。また、治療にはタミフルなどの抗インフルエンザ薬が有効です。

下記の症状に当てはまる方は、早急に各地の保健所に連絡しご相談下さい。

- 1 発症前10日以内に中国に渡航または居住しており、38℃以上の発熱と急性呼吸器症状を呈していて、他の感染症または他の病因が明らかではない場合。
- 2 鳥インフルエンザの確定例と接触した場合。

また昨今、鳥インフルエンザとは別個に、新種のコロナウィルスによる重症肺炎が問題となっています。このウィルスは昨年4月、中東に端を発し、今年5月以後は欧州でも拡大しつつあります。鳥インフルエンザと異なりヒトからヒトへの感染が確認されていますが、感染の詳しい経路についてはまだわかりません。このウィルスは2003年に流行したSARSの遠縁にあたり、MERS コロナウィルスと命名されました。現時点でワクチンや有効な治療薬はなく、今後の動向を注意深く見守っていく必要があります。

詳細は、厚生労働省（<http://www.mhlw.go.jp/>）および国立感染症研究所（<http://www.niid.go.jp/niid/ja/>）のホームページを参照してください。



携帯電話から右のQRコードを読み取りアクセスすると厚生労働省の最新情報をご覧いただけます。

● 在宅の生活でお困りのとき



医療福祉科 松本 紗緒里

医療ソーシャルワーカーは、病気になったことで生じる様々な問題を患者様、ご家族様と一緒に相談し、お手伝いさせていただいております。今回は、ご自宅での生活が難しくなった時、病院や施設に入るにはどうしたらいいかお話しさせていただきます。一概に病院や施設と言っても、様々な種類があり、お受入れしている患者様の病気や状態も様々です。患者様の状態に合わせて選んでいく必要があります。では、病院と施設に分けてご説明していきます。

病 院

○回復期リハビリテーション病院

脳血管疾患や大腿骨骨折など、あらかじめ決められたご病気の方が、集中的にリハビリを行い、**ご自宅に帰る準備をする**リハビリ専門の病院です。

○医療療養型病院

医療保険を使って入院する病院です。吸引や酸素、中心静脈栄養（IVH）など、医療的なサポートが必要な方が対象です。

○介護療養型病院

介護保険を使って入院する病院で主に要介護4・5の介助量の多い方が入院する病院です。ベッドで過ごす時間が長く、リハビリは週1～2回です。現在では、かなり病院の数が少なくなっています。

※病院も施設も、申し込むためには、主治医の診療情報提供書や検査データ等とご家族の面談を行い、受け入れについて審査会を行います。申し込んでみてもすぐに入れない場合もあります。ご希望の場合は、担当のケアマネージャーが当院の医療ソーシャルワーカーへご相談ください。

医療福祉科のご案内

相談時間 平日 9:00～16:30

土曜日 9:00～12:30

電話：03-3721-7121（代表）

※相談は無料です。秘密は厳守いたします。

※事前に直接お電話を頂くか、1階受付・各階ナースステーションへお声掛けください。

施 設

◇介護老人保健施設

要介護1以上の方が対象で、3ヶ月～6ヶ月リハビリを行う施設です。個別のリハビリではなく、集団でレクリエーションや体操を行うことが多いです。

◇特別養護老人ホーム

要介護4・5の方が多く入所されます。緊急性の高い方から優先となり、待っている方が多いため、1～2年位待つことがあります。

◇グループホーム

認知症と診断された方が、少人数で家庭的な環境で生活する施設です。原則として、お住いの地域の施設を利用させていただきます。

◇有料老人ホーム

色々な会社が経営母体になっており、ホームの数がとても多いです。入居金や月額費用などの契約形態、ホームの雰囲気もかなり異なります。他の施設より、費用は高くなりますが、お受入れの幅が広く、自由がきく施設です。

基本的に**介護保険の要介護1以上の方が対象**です。事前の介護保険申請と認定が必要となります。



大田区 胃がん・肺がん・大腸がん検診のお知らせ

【予約受付】 平成 25 年 6 月 29 日（土）13:00～16:00

予約は受付窓口
のみとなります。

※混雑緩和のため初回受付のみ上記の受付とさせていただきます。

◆上記以降の土曜日は 9:00～12:00 平日は 9:00～12:00 14:00～16:00 の受付となります。

乳がん・緑内障検診のお知らせ

【予約受付】 平成 25 年 6 月 27 日（木）より

予約は電話受付
のみとなります。

（月）～（金）9:00～12:00 14:00～16:30
（土）9:00～12:00

◆土曜日の午後、日祭日の受付は出来ませんので、ご了承下さい。

◆なお、検診の受付は人数制限がありますので定数に達し次第、受付終了となります。

第 17 回 公開医療講座のお知らせ

日時 平成 25 年 6 月 8 日（土） 午後 3 時～4 時

講演 「誰でもできる 心肺蘇生術」

副院長 総合診療科医師 石田 順朗

場所 田園調布中央病院 1 階 特設会場

問合せ 田園調布中央病院

〒145-0071

大田区田園調布 2-43-1

☎ 03-3721-7121

（参加費・申込無料）



診療受付時間

受付時間：午前の部 8:00～12:00（小児科 11:30） 午後の部 8:00～16:30

診療時間：午前の部 9:00～

午後の部 14:00～

面会時間：11:00～20:00

◆診療科により受付・診察時間が異なる場合があります。

詳細につきましては、お気軽にお電話または受付までお問い合わせください。

◆ご面会は他の患者様に迷惑のかからないよう、面会時間をお守りください。